

富山経協



ニッコウキスゲの花 (解説・21ページ)

CONTENTS

- 2 第72回定時総会 (報告)
- 4 講演会 (要旨)
「働き方を見直して生産性アップ～人材定着を図るには～」
- 6 理事就任のご挨拶
- 7 労働指標
- 8 調査報告
2017年春季賃金改定状況調査<最終集計>
- 10 Top Interview
能作 能作克治社長
- 12 事業活動報告、理事会
- 13 委員会活動
- 15 富山県との情報交換会 (講演要旨)
- 16 講座・セミナー
- 16 参加者NOTES
- 20 新会員の紹介
- 20 会員の動き
- 22 おしらせ・事業予定

第72回 定時総会

一般社団法人富山県経営者協会の第72回定時総会は5月22日(月)、富山国際会議場2階会議室で、会員総数488社中、出席180社、委任状39社、議決権行使206社の、合計425社により開催した。

定刻に至り、開会を宣言し、本定時総会が定足に達しており成立している旨を告げ、定款第15条により金岡会長が議長となり、6の議案について審議・報告しいずれも異議なく満場一致で承認された。また、議事に先立ち金岡会長より、昨年総会以降の叙勲、褒章受章者の2名が紹介された。



講演会

総会終了後、同会場3階大ホールで、NTTコミュニケーションズ(株)常勤監査役の小林洋子氏から「働き方を見直して生産性アップ ～人材定着を図るには～」と題して講演をいただいた。(講演要旨は4頁掲載)



懇親会

懇親会は、ANAクラウンプラザホテル富山・鳳の間で開催した。開会に先立ち、金岡会長から新会員のアイティ経営コンサルタント(株)、(株)アルゴ、(株)エムエスシー、(株)高志インテック、CSポート(株)、(株)システック牛島、(株)ソフト、立山製薬工場(株)、天龍工業(株)、(株)MINAMI、(株)盛システム開発、(株)リンケージの各社が紹介された。続いて、金岡会長より先の定時総会において退任した佐藤前専務理事へ、長年の功績を讃えて感謝状と記念品が贈られた。

懇親会の開会にあたり金岡会長は「働き方改革の議論は日本全体を巻き込む大きなうねりとなっている。経営者協会の委員会活動等への積極的な参加、発言により、会員相互の知見の交換を通して生産性向上、働き方改革の実現を達成していきたい。人材の集積県とやま、経営の先進県とやまを目指して、引き続きの皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

来賓の山崎副知事が祝辞を述べ、山下副会長の発声で乾杯を行った。和やかな懇談の後、三鍋副会長が中締めを行い、終了した。



金岡会長



山崎副知事



山下副会長



三鍋副会長

議 事

第1号議案 2016年度事業報告の件

定時総会は、5月23日に開催し、総会后「労働生産性を上げる働き方改革」をテーマに講演会・座談会、懇親会を行なった。理事会は書面理事会を含め7回開催した。事業推進機関会議は、3月3日に幹事会を開催した。会員懇談会は、7月に西部地区、9月に富山地区、11月に東部地区と3回開催した。広報調査活動は、機関誌を7回発行した。定期調査は6件、経営課題調査は2件実施した。以上の活動により、事業への参加者数は7,122人となった。

第2号議案 2016年度

財務諸表承認の件

・正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

経常収益計	108,557,726円
経常費用計	112,244,258円
経常増減額	△3,686,532円

経常外増減の部

経常外収益	0円
経常外費用	0円
経常外増減額	0円

一般正味財産増減額

△3,686,532円

正味財産期末残高 152,183,031円

・貸借対照表

資産の部

流動資産	118,733,286円
固定資産	47,566,837円
資産合計	166,300,123円

負債の部

流動負債	6,586,592円
固定負債	7,530,500円
負債合計	14,117,092円

資産合計から負債合計を引いた正味財産合計は152,183,031円となった。

第3号議案 公益目的支出計画

実施報告の件

2012年度末の公益目的財産額の確定額171,314,841円を19年間でゼロ円とする公益目的支出計画に基づき、今年度支出計画収支差額△11,229,000円に対して実績は△11,185,912円とな

った。2017年度からインターンシップ活動事業を廃止することに伴い、2017年度以降の公益目的支出計画は、2017年度予算案を基に見直し県に申請する。

続いて、監事の齊藤栄吉氏（富山銀行代表取締役頭取）から「その内容は正確かつ妥当」との監査報告が行なわれた。

以上3議案について異議なく満場一致で承認された。

第4号議案 2017年度

事業計画(案) 審議の件

世界の政治経済情勢は、保護主義の台頭やナショナリズム志向の広がりが懸念されるなか、先行き不透明感を増している。一方、国内においては人口減少と高齢化が現実のものとなり、企業経営、日本経済に一抹の影を落とすような状況である。

このような時にこそ、長年「企業と人」にフォーカスしてきた富山県経営者協会の活動が、ますます重要になってきており、富山で事業を営む経営者で構成する民間経済団体として、役割とあるべき姿を自覚し、新たな行動をすることにより、存在価値を高めていき、多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究・広報活動、会員企業で働くすべての社員の能力向上を目的とする研修講座等、事業活動を進め会員サービスの強化につなげていく。

以上の実現を目指し2017年度の事業活動を以下のとおり行なう。なお、2016年度まで実施していたインターンシップ活動事業は廃止する。

1. 企業経営に必要な情報をタイムリーに提供する。

労使一体となった企業活動が企業の存続と雇用につながる。先の見えない企業経営環境下での他社の取り組み、行政の人材採用・育成、女性の活躍、海外展開等の支援制度についての情報提供活動を進めていく。

2. 「企業と人」にフォーカスした委員会活動を強化する。

企業の繁栄の源泉は「現場力」であり、それを支えるのが「人材力」である。長年、富山県経営者協会が取り組んできた「企業と人」にフォーカスし、そこで働く人がより働きがいを感じ、自ら能力を向上し、労働生産性を高め、定着する企業風土の構築につながる委員会活動を強化していく。

3. 事業活動の幅を広げ、人脈形成を支援する。

行政並びに他の経済団体との連携を通して、当協会の各種事業の強化と充実を図っていくとともに、企業規模・業種に関係なく参加でき、さらに協会の枠を超えた人脈形成に繋がる場を提供していく。

4. 製造業と非製造業の融合化を推進する。

製造業にとってのサービスのあり方やサービス業との融合など、製造業と非製造業のお互いの強みを生かしていく情報を提供していく。

5. 公益性を高め、地域社会に貢献する。

公益性を高め、研究成果やアンケート結果などをマスコミやホームページで情報提供し、地域社会の発展につなげる。そのために会員増強と会員相互協力のある各委員会活動への責任者の参画を促進していく。

第5号議案 2017年度

損益予算(案) 審議の件

・損益予算書

一般正味財産増減の部

経常収益計	93,467,200円
経常費用計	97,298,500円
経常増減額計	△3,831,300円

経常外増減の部

経常外収益計	0円
経常外費用計	0円
経常外増減額計	0円

一般正味財産増減額

△3,831,300円

以上2議案について異議なく満場一致で承認された。

第6号議案 理事選任の件

<理事候補者> (新=新任)

金岡 克己 (株)インテック
取締役会長
武内 繁和 武内プレス工業(株)
代表取締役社長
綿貫 勝介 トナミ運輸(株)
代表取締役社長
笠井 千秋 (株)タカギセイコー
取締役相談役
米屋 正弘 北星ゴム工業(株)
代表取締役会長
山下 清胤 三協立山(株)
代表取締役社長

井上 孝 YKK(株)副社長
黒部地区担当
黒部事業所長
三鍋 光昭 北陸電気工事(株)
代表取締役社長
稲垣 晴彦 北陸コカ・コーラ
ボトリング(株)
代表取締役社長
新) 薄田 賢二 (株)不二越
代表取締役社長
新) 川西 邦夫 伏木海陸運送(株)
代表取締役社長
新) 宮崎 友之 (一社)富山県
経営者協会

<監事候補者>

金岡 純二 (株)富山第一銀行
代表取締役会長
齊藤 栄吉 (株)富山銀行
代表取締役頭取
山地 清 富山信用金庫
理事長
松村 篤樹 あおぞら経営税理
士法人 代表社員

以上異議なく満場一致で承認された。

講演会(要旨)

「働き方を見直して生産性アップ～人材定着を図るには～」

NTTコミュニケーションズ株式会社

常勤監査役 小林 洋子 氏



1. これまでの経験をふまえて ～「化ける」【はじめに】

私は新卒で当時の電電公社に入りました。自分自身を振り返ってみますと、こんなに長く会社で勤める、あるいは企業の中で上を目指すというタイプではなく、生活信条は「足るを知る」でした。

その後、縁あって39年2カ月も同じ会社にいまして、生活信条は「変革とチャレンジ」になりました。自分でも変わったなと思います。当時のNTTの人事部長は、私をご覧になってしみじみ「女は化ける」と言いました。その後、私以外の女性の部下たちも非常に化ける場面を目撃しました。

2. なぜ今、働き方改革・女性

活躍推進なのか【現状の確認】

働き方改革をよく見ると、女性活躍推進が透けて見えます。我々企業人はなぜ今働き方改革に取り組む必要があるのか、日本の競争力と女性活躍推進について、なぜこれが必要なのかを整理します。

人口減少、TPP、不況という

3つのテーマに対し、まず働く人を増やすことを考えると、候補となるのは女性か高齢者か外国人かロボットです。そのなかで、文化も教育レベルも同じである女性に真っ先に着手すべきということで女性活躍推進につながります。

一般論ですが、多くの女性は阿吽の呼吸が伝わらない、先例にとられない、職場以外に多様な社会とのつながりを持つと言われます。阿吽の呼吸が伝えられないから可視化が必要となります。見える化、説明による意思徹底をしようとする、説明する側も頭の整理ができます。

先例にとられず変革への抵抗がないということは変更が進むということです。多様な社会とのつながりとは市場との接点が増えるということです。これらは働きやすい職場環境の整備およびイノベーションにつながるものであり、これらを通じて組織全体が活性化され競争力が高くなるというシナリオとなっています。

3. 現状の課題と、それぞれの意識改革【意識改革】

男女には能力も働く姿勢も差はありません。しかし、他から期待されることによって後天的に形成される部分的違いはあります。女性たちは100%の自信がないとできると言いません。一方で男性は15%できると思ったら「はい、できます」と答えます。

富山県の現状ですが、公表データから推察しますと、両立支援については全国平均より優れていますが、キャリア支援は劣っていると想定されます。そして特徴として、とてもよく働きます。働いて休まない。私の感覚からしますと大変な美德です。しかし、今は美德ですが、将来はブラック企業ですね。ブラックエリアと呼ばれるかもしれません。

そのような現状を変えようという動きが出ていますが、誰がどう意識改革をしたらいいのか。

まず経営者はどうするか。

①仕事の継続を支援する両立支

援施策へ移行すること、②女性登用・活用を中間管理職の評価基準に加え、意識改革を行うこと、③研修の機会も女性を積極的に、男女構成比と同じようにしていくこと、④徹底的な実力主義を貫くこと、⑤評価の見える化を進めること（前提として業務プロセスを可視化すること）。

経営者の意識改革が大事です。

一方で働く人、女性自らはどうするか。

自分でキャリアを積むんだという決意をしてもらわないといけません。誰かが大きく背中を押した結果、決意をするということも含まれます。決意をしたら、①組織人として行動し家庭や子どもを言い訳にしないこと、②チャンスがきたら迷わず掴めるよう期待を裏切らないこと、③制度は周囲の納得感の範囲で使い、貪欲に行使しないこと、④ロールモデル不在を言い訳にしないことが重要です。

次に上司である管理職の意識改革です。①過剰な配慮は悪影響になる場合もあるので特別扱いしないこと、②こまめにヒアリングをし、今は責任ある仕事は無理なのか、挑戦していきたいのかをくみ上げていくことです。

管理職なんて無理という女性は、実際にはかなりの確率で挑戦したい人が多いのです。自分に自信が持てない女性に対して、皆様に経営者としてお声かけしていただきたいのは、今のままのあなたを認めてリーダーにすると会社が決めただという事です。今のままで、自分流のリーダーシップでいてくださいと伝えると、女性は安心してリーダーになります。

4. 働き方改革で、生産性・CS・ES向上 【働き方改革】

ワーク・ライフ・バランスについて、仕事から手を抜いて頑張ら

ないで早く帰って生活を楽しもうというように解釈している記事もありますが、それは違います。仕事にいつも全力投球するのは当たり前で、痺れるほどある時期に働く、そして急成長するということは必要です。問題は、一生痺れるほど働いていたらそれこそエネルギーが尽きてしまうので、メリハリをつけて長い充実人生の中でワークとライフをマネジメントする。これがいわゆるワーク・ライフ・バランスです。

明日からできる職場環境づくりの具体的な施策を紹介します。1つ目は育ボス宣言です。2つ目はホワイトボードを活用したプライベートを含めたスケジュールの共有。3つ目は2人1組でバックアップワークを行うこと。常に2人1組で、2人で2種類の仕事を行うことで、マルチタスクになり生産性向上にもつながります。

弊社でも働き方改革へ色々と取り組んでいます。1つはテレワークです。当初懸念していた在宅テレワークでは勤務時間が間延びするという事も実際は起こりませんでした。始業時と終業時は必ず上司が開始・終了の連絡をすることとなっています。

次にリモートワークですが、昼間空いているカラオケルームを仕事用のセキュアな環境として利用するという例です。様々な遊休傾向にある設備が使えるのではないのでしょうか。

簡素化の事例として決裁は3人までというルールを作りました。3人制を実施した結果、関与者を11万人分削減することができ、ミスも減りました。

このほかにも様々な仕組みや新技術を導入しています。従業員満足につながる最新技術は数多くありますが、社員のやりがい、企業の継続性につながるという関連性

がありますので、問題を解決する1手段として是非IT投資をご検討いただくということも良いのではないかと思います。

そして評価ルールです。長くただらと働いた人を評価するのではなく、効率よく働いた人を評価するルールに変える。これはトップにしかできません。

5. いま、起きていること～新産業革命、VUCA 【おわりに】

最後に、今世界では様々なものがデジタル化され、ネットワークでつながり、データが集められ、利用されています。AI・人工知能はどんどん進化し、自分で学習し自分で判断し自分を教育しています。このような背景を踏まえて言われているのが「VUCA（ブーカ）の時代」。Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）、この4つのワードの頭文字をつなげた言葉で、予測不能という結論です。

予測できないのであれば適応するしかありません。適応できる組織は、トップが明確なビジョンを出し、社員みんながビジョン共有しています。社員が活性化し自分の頭で考える能力を発揮できれば適応力は高まります。VUCAの時代だからこそ働き方改革、守りではなく攻めの働き方改革が重要であるということです。

「過去の延長線上に未来はない」これは小林喜光さんの言葉です。経営者は現状に満足せず、自己を変化させながら組織を変革していかななくてはなりません。これまでの成功体験は時には逆に災いするのだそうです。常識・過去・成功体験を捨てて、心の岩盤を打破しようということで私の話は終了させていただきます。



理事就任のご挨拶



株式会社不二越
代表取締役社長

薄田 賢二



伏木海陸運送株式会社
代表取締役社長

川西 邦夫

このたび理事に選任いただき、誠に光栄に存じます。不二越は、1947年の経営者協会設立時からの会員であり、深いつながりがあります。今回の理事就任を機に、今まで以上に会員企業の皆様のお役に立てるよう、精一杯努めさせていただきます。

さて、世界経済は、中国経済が持ち直してきているものの、米国の新政権による経済運営、イギリスのEU離脱問題など、先行き不透明感があるなかで、日本経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかではありますが回復していくものと見ております。

このような環境下で、富山県におきましては、北陸新幹線の開業から早くも2年が経過しました。観光・ビジネスの両面で、首都圏からの認知度も大幅に向上し、富山県経済にも大きく貢献した訳ではありますが、これを新幹線開業の一過性のものでなく、今後しっかりと定着させていかなければなりません。

当社は、現在、グローバル展開を進めておりますが、富山工場はマザー工場の位置付けであり、今後も引き続き拡充して参ります。また、当協会員として、会員企業間での相互連携による富山県の産業基盤の強化、地域の活性化に向けた、継続的な取り組みを展開していきたいと考えております。

微力ではありますが、金岡会長の補佐及び会員企業各位のお役に立てるよう取り組んでまいります。皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

薄田理事 1955年生まれ。大阪大学法学部卒。1977年(株)不二越入社、2005年経営企画部長、2010年取締役、2014年常務を経て、2017年2月から代表取締役社長。

このたび当会の理事に選任いただき、誠に光栄に存じますと共に、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

さて、最近の国内の経済情勢は、輸出の回復などを背景に企業収益は底堅さがみられ、個人消費は力強さを欠いておりますが、緩やかな景気の回復が続いています。しかし、欧米の新政権の政策運営の不透明感や緊迫する朝鮮半島情勢など不安な面も懸念される状況にあります。

富山県内においては、個人消費や住宅建設は持ち直しの動きがみられ、企業の設備投資も増加し、雇用情勢も改善しております。また、北陸新幹線の開通から2年が経過し、新幹線効果の賑やかさは落ち着きつつありますが、高岡御車山祭の御車山行事、城端神明宮祭の曳山行事、魚津のタテモン行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことによる観光客の増加、海外の大型クルーズ船の寄港や台湾との航空便の利用増など、引き続き県内の観光は盛り上がりを見せており、さらなる活性化が期待されます。

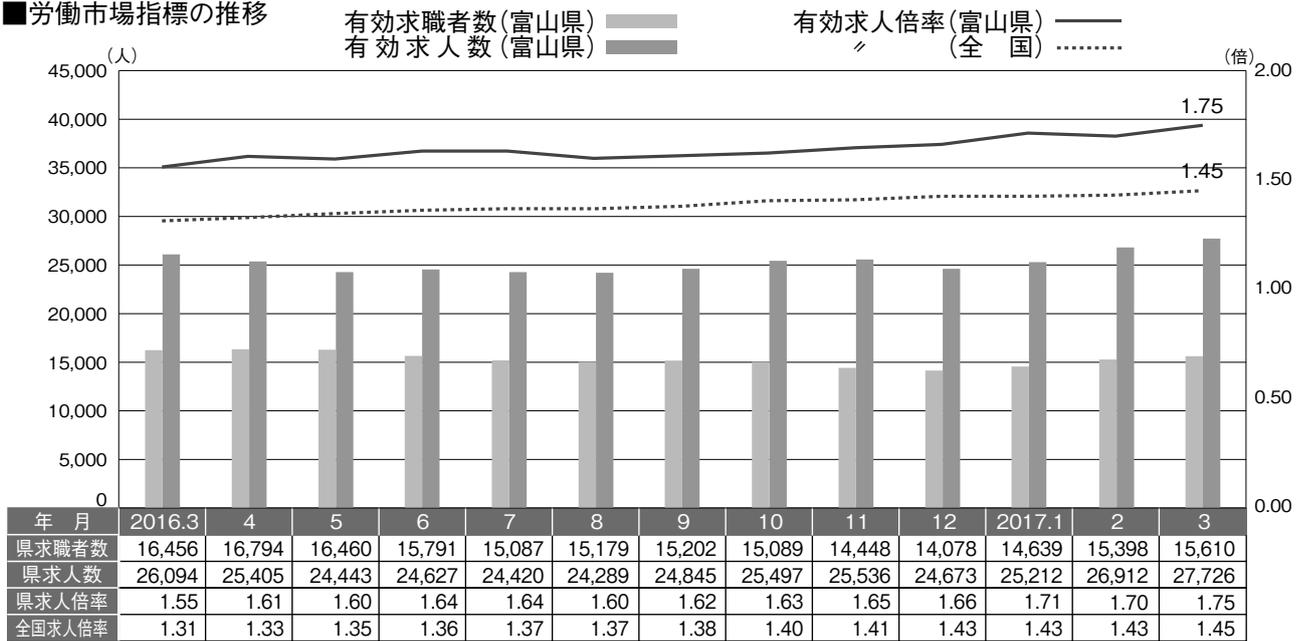
当協会においては、本年1月に設立70年を迎え、引き続き「企業と人」に焦点を当て、会員の皆様に必要な情報を発信しておりますが、さらに当協会を有効にご活用いただき、会員相互連携を深めて地域経済の活性化、新しい魅力を持った地域社会の発展にご協力いただきたいと存じます。

会員の皆様方のご指導・ご協力を頂戴いたしまして、微力ではございますが金岡会長を補佐し、会員企業の皆様方のお役に立てるよう取り組んでまいりますので何卒よろしくようお願い申し上げます。

川西理事 1952年生まれ。明治大学商学部卒。1977年伏木海陸運(株)入社、2007年取締役営業第二部長、常務、2012年代表取締役専務、代表取締役副社長を経て、2016年9月から代表取締役社長。

労働指標

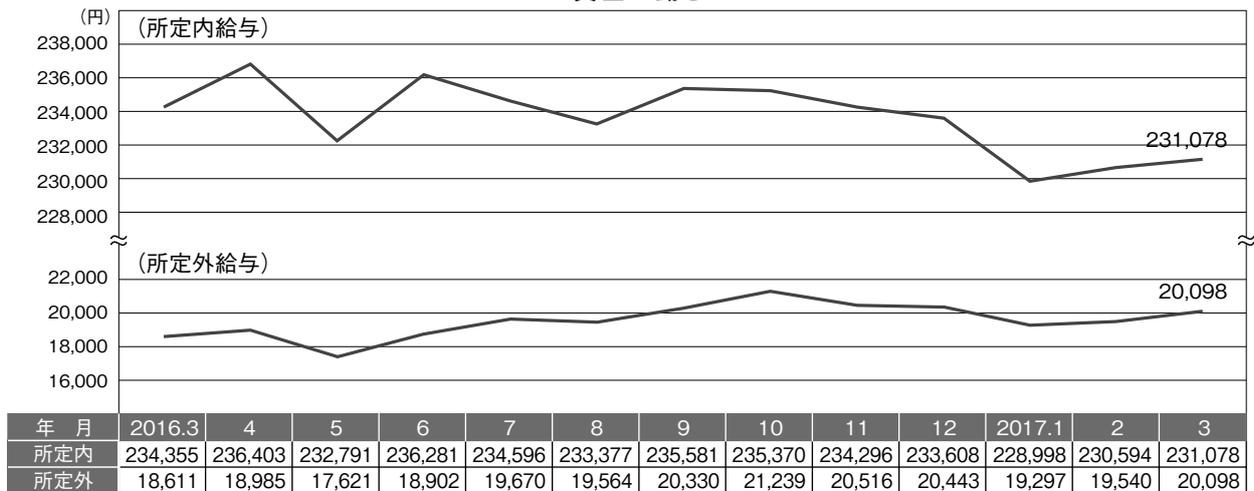
労働市場指標の推移



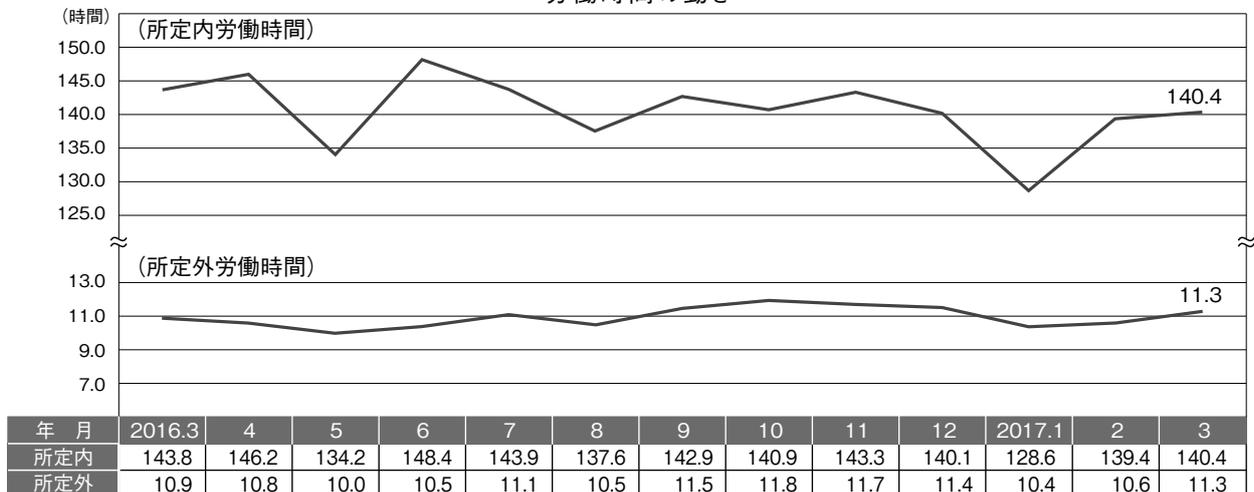
出典：富山労働局「労働市場月報」http://toyama-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html

賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

賃金の動き



労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/maikin/index.html>

2017年 春季賃金改定状況調査

県内企業の賃金改定状況〈最終集計〉

138社加重平均4,215円、改定率1.60%

当協会は、「2017年春季賃金改定状況調査（加重平均）」の最終集計を取りまとめた。（表1）

県内企業138社から寄せられた回答（全て集計可能）の改定額平均は4,215円、改定率1.60%で、昨年の最終集計結果（3,751円、1.44%）と比べると、改定額は464円増加、改定率は0.16%増加した。

業種別にみると、製造業65社の改定額平均は4,911円、改定率は1.89%で、昨年（3,978円、1.53%）と比べると、改定額は933円増加、改定率は0.36%増加した。非製造業73社の改定額平均は3,496円、改定率は1.31%で、昨年（3,482円、1.35%）と比べると、改定額は14円増加したが、改定率は0.04%減少した。

改定額の分布では、「6,500円以上」が19社で最も多く、次いで「3,000円以上3,500円未満」が18社、

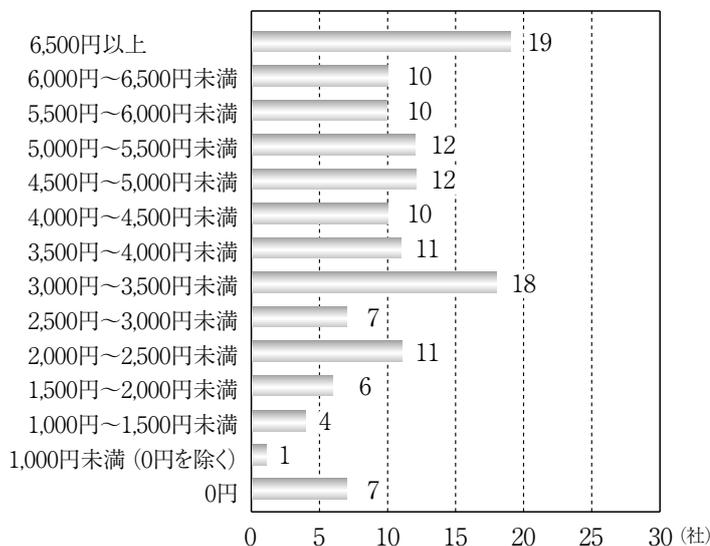
「5,000円以上5,500円未満」と「4,500円以上5,000円未満」がそれぞれ12社であった。（図表2）

改定率の分布では、「2.4%以上」が23社で最も多く、次いで「2.0%以上2.2%未満」と「1.2%以上1.4%未満」がそれぞれ14社であった。（図表3）

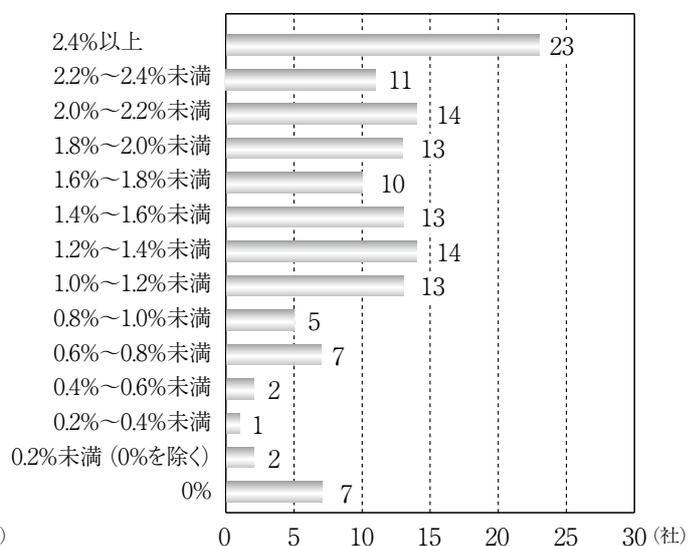
改定の実施内容では、「定期昇給とベースアップを実施した」企業が49社で最も多く、「定期昇給のみ実施した」企業が47社、次いで「定昇制度はないが昇給を実施した」企業が23社となっている。

賃金を改定するにあたり最も重視した要素では、「企業業績」を挙げる企業が80社で最も多く、次いで「世間相場」が20社、「労使関係の安定」が11社となっている。

（図表2）賃金改定額の分布



（図表3）改定率の分布



(表1) 2017年 春季賃金改定状況調査結果(加重平均)

[最終集計-2017年6月5日]

(一社)富山県経営者協会

	2017年			2016年			
	社数(社)	改定額(円)	改定率(%)	社数(社)	改定額(円)	改定率(%)	
製 造 業	食料品・飲料	3	3,222	1.39	2	3,167	1.39
	織 維	3	6,111	2.04	3	5,520	1.95
	木材・パルプ・紙	3	2,739	1.35	5	4,119	1.55
	印 刷	0	—	—	3	3,061	1.41
	化 学	11	6,630	2.43	13	4,369	1.57
	プラスチック・ゴム	7	4,604	1.83	7	3,898	1.59
	鉄鋼・非鉄金属	4	3,850	1.77	3	4,195	1.52
	金 属 製 品	10	4,248	1.73	10	3,419	1.26
	汎用・生産機械器具	13	5,156	2.10	11	4,484	2.00
	電子・電気機械器具	6	3,821	1.57	7	4,249	1.75
	輸送用機械器具	4	4,130	1.60	3	4,767	1.89
	その他製造業	1	—	—	1	—	—
製造業平均	65	4,911 (4,154)	1.89 (1.73)	68	3,978 (3,902)	1.53 (1.62)	
非 製 造 業	建 設	14	6,296	2.45	15	5,117	1.94
	電 気 ・ ガ ス	3	2,772	0.99	2	2,777	0.98
	情 報 通 信	9	3,510	1.28	8	3,513	1.25
	運 輸	13	2,274	0.93	11	2,435	1.02
	卸 ・ 小 売	18	4,246	1.44	19	4,357	1.77
	金 融 ・ 保 険	1	—	—	0	—	—
	宿泊・飲食・生活関連	2	13,168	5.26	1	—	—
	学術・専門・技術サービス	6	4,726	1.63	5	6,165	2.25
	教育・医療・福祉	4	2,457	1.01	4	3,707	1.46
サービス・その他非製造業	3	2,209	0.89	3	2,546	1.11	
非製造業平均	73	3,496 (5,197)	1.31 (1.90)	68	3,482 (4,907)	1.35 (1.91)	
総 平 均	138	4,215 (4,706)	1.60 (1.82)	136	3,751 (4,404)	1.44 (1.77)	

- (注) ① 調査対象472社のうち、集計可能な回答のあった138社の数値である。
 ② 平均欄の上段は加重平均、下段の()内は単純平均である。
 ③ 当該業種1社だけの回答の場合は数字を伏せているが、平均には含む。

高岡鋳物でヒット生む 常に前進で地域を牽引

株式会社 能作
代表取締役社長

能作 克治 氏



創業101周年の今年4月27日、高岡オフィスパーク内に新社屋を移転オープンされ、産業観光の拠点としても注目されています。

業容拡大に伴い旧社屋が手狭となり、倉庫や工程毎に建物が分散していました。工場見学を16年前から受け入れていますが、昨年の来場者は1万人に上り、広い敷地に集約して生産性の向上を図りながら、産業観光にも対応するようになりました。

工場見学と、鋳物体験、カフェ、ショップを併設しています。昨秋に産業観光部を新設し、観光客の受け入れ準備を進めてきました。

工場案内を16年前に自ら始められた経緯を教えてください。

私は福井県出身で、婿として入社し、社長就任までの18年間鋳物職人として働いてきました。当時は職人に対する世間の見方が低く、伝統産業は衰退産業だと言われていました。その認識を変えたいと

思い、工場の一角にもものづくりを伝える小さなコーナーを作って案内したのが始まりです。

その後、2006年に市内の小学校で地場産業を学ぶ「ものづくり・デザイン科」の授業が始まり、大勢の子供たちが来るようになったのが、今に続いています。

—ユーザーの声からヒット商品—

高岡銅器の将来をどう感じられたのでしょうか。

職人は問屋からの注文に応える下請けです。私が入社した頃はバブル経済でたくさん注文がありましたが、中国の台頭が見えていたので、20数年前から多品種少量生産に切り替えました。1個だけ作ったこともあります。さすがにその時は先代に怒られました。

また県外出身の“旅の人”ということで、周りの職人さんたちが私には色々な技術を教えてくれました。お陰で技術を磨く事が出来、問屋からの評価も上がりました。平成に入り業界全体の販売額が減少する中でも、当社は微増を続けることができました。

現在は素材感のある銅器や、曲げられる錫製食器など、多くの自社商品を展開しておられます。

下請けでは分からないユーザーの声を聞きたいと思っていたところ、2001年に参加した勉強会の講師の方の紹介で、東京で展覧会を開くことができました。そこで照明器具の製作依頼があったり、真鍮のベルが全国展開するインテリア雑貨店に並んだり、大きな転換点になりました。

また、食器を売りたいという話を聞いて生まれたのが曲がる錫の食器です。錫は柔らかく、通常は他の金属を混ぜて硬い合金にしていますが、あえて誰もやってい

ない100%に挑戦し、柔らかいのなら曲げて使ってもらおうと作ったものが看板商品になりました。

販路をどう広げられましたか。

当社は下請けの鋳物屋ですので、新規のご注文には、既に取り引されている高岡の間屋さんを通してもらうように話すのですが、それがなかった。分かったのは、伝統産業は流通も伝統のまま販路開拓をしてこなかったのです。

よく「能作さんは運がいい」と言われますが、そうではなく、物事に真剣に取り組んでいると、関連する情報を捕まえることができます。それが新商品開発に繋がり、パレスホテル東京でのショップ展開にも繋がりました。3月にはタイ・バンコクにも出店しました。お客様の要望から、医療器具も作り始めています。ご要望は決して断らないで、必ず何かを考えてきました。当初100%下請けだったものが、今では自社開発商品の割合が75%を占めます。

一産業観光の成功モデルを

産業観光のねらいについて教えてください。

まずは富山県民の皆さんに来て欲しいです。地方創生とは、子供たちが自分の町を素晴らしいと感じることだと思っています。その子たちが育って、県民みんなで故郷が素晴らしいと自慢することが

一番の観光PRです。

このゴールデンウィーク中の来場者は5,800人となりました。見たい人、体験したい人がたくさんいることを実感しました。当社だけでなく産業観光の拠点がたくさんできるためにも、成功のモデルケースを作らないといけません。かつて多くの職人さんから技術を教えてもらったこの土地への恩返しをしたいのです。

工場は広くてきれいですね。

見学の受け入れだけでなく、働きやすい職場になっています。規模は旧工場の1.5倍、鑄造現場には炉を1基増設して2基にし、砂処理のプラントも真鍮と錫で分け、生産性は高まりました。仕上げ工程の作業場には各所に集塵機を設置し、きれいな空気の中で作業しています。中でも社員食堂が日当たりも良く、社屋内で一番好きな場所です。地域を好きになるのと一緒に、自分の会社を自慢できる環境を作りました。

また「工場見学は仕事の邪魔になる」という人がいますが、それは間違いで、お客さんと話すことで職人のモチベーションが上がりますし、きれいに掃除するようにもなります。

人材募集はどうされていますか。

メディアで取り上げてもらっているおかげで、求人を出さなくても募集の問合せが来ます。熱意の

ある人は何度も来ます。

また、辞める人はほとんどいません。地域や会社にプライドを持つと自然に働きます。私がそうで、仕事大好きです。今でも土日も仕事をしています。そして、私は社員をぎゅうぎゅう締め付けずに自由にやらせているからでしょう。

私が入社した時、社員は数人でしたが、今は140人。売上げも社長就任以降、毎年約10%で伸びています。

色々と選択を迫られたとき、決断の基準となるのは何ですか。

単純なことで、どちらの選択が多くの人を幸せにできるかという点です。自分1人が潤っても仕方ありません。社員にも「地域のためになることをしなさい」と言っています。社員、地域の人、商品を買ってくれた人、一生の内にどれだけの人を幸せにできるかを基準にしています。

座右の銘を聞かせて下さい。

「前進あるのみ」です。逆に嫌いな言葉は「できない、無理」。人生は元に戻れないので、決断したら前を見る、そして嫌なことは忘れることです。

法人概要

株式会社 能作

創業：1916(大正5)年

所在地：高岡市オフィスパーク8-1

資本金：3,000万円

事業内容：仏具、茶道具、華道具、インテリア雑貨、エクステリア、照明、錫(純度100%)製テーブルウェア、その他鋳物全般

従業員数：140名

売上高：12億2,000万円(2016年度)

事業所：東京オフィス

直営店：本社、東京、大阪、福岡、名古屋、富山、高岡、バンコクなどに12店舗

URL：www.nousaku.co.jp

略歴

1958(昭和33)年5月生まれ。福井県三国町出身。大阪芸術大学写真学科卒業後、新聞社写真記者を経て、1984年(株)能作へ入社。鋳物職人の現場で修業し、2002年代表取締役社長就任。(公社)富山県デザイン協会理事長。



真鍮製日本地図を埋め込んだエントランスは鑄型を作るための木型がディスプレイされている

事業活動報告

2017年4月15日～6月10日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	4月24日(月)	富山経協・研修室B	8名
	理事会		4月24日(月)	富山経協・研修室A	9名
	環境委員会「県との情報交換」	環 境	5月10日(水)	富山商工会議所ビル	28名
	環境委員会「定例委員会」	環 境	5月10日(水)	富山経協・研修室A	21名
	第72回定時総会		5月22日(月)	富山国際会議場	219名
	理事会		5月22日(月)	富山国際会議場	13名
	講演会・懇親会		5月22日(月)	富山国際会議場・ ANAクラウンプラザホテル富山	356名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	5月30日(火)	富山経協・研修室A	23名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	6月 9日(金)	(株)インテック	23名
会員交流	環境保全活動	環 境	6月10日(土)	立山町岩峠寺天林	25名
見 学 会	環境委員会「県外企業見学研修会」	環 境	6月8日(木)～9日(金)	北陸電力(株)志賀原発 他	11名
	教育委員会「教育制度見学会」	教 育	6月 9日(金)	(株)インテック	36名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	管理職マネジメント研修	教 育	4月18日(火)・ 5月19日(金)～20日(土)	富山県農業総合研修所	26名
	人事・労務管理セミナー<第1回>	人事・労務政策	4月19日(水)	富山経協・研修室A	18名
	品質管理入門講座【基礎編】	品質管理	4月20・27日(木) 5月11・18日(木)	富山商工会議所ビル	52名
	営業力基礎セミナー	教 育	4月25日(火)・26日(水)	富山商工会議所ビル	39名
	好印象を与えるコミュニケーション力向上セミナー	教 育	5月16日(火)	富山商工会議所ビル	31名
	ISO9001:2015年版改訂まるわかり講座	品質管理	5月17日(水)	富山経協・研修室A	16名
	事務間接部門の効果的な業務改善の進め方	教 育	5月24日(水)	富山商工会議所ビル	30名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	5月25日(木) 6月 8日(木)	富山経協・研修室A	28名

理 事 会

■ 4 月 度

4月24日(月)16時30分から、金岡会長はじめ理事総数12名中7名、監事総数4名中2名が出席して、4月度理事会を富山経協・研



修室Aで開催した。

金岡会長の挨拶のあと、①総会付議案件審議の件、②新会員承認の件について審議し、全員異議なく承認された。

また、5月22日(月)開催の定時総会において改選となる理事・監事人事については、理事の本間博夫氏、針山健二氏、佐藤 登氏の3氏が退任し、株式会社不二越代表取締役社長 薄田賢二氏、伏木海陸運送株式会社代表取締役社長 川西邦夫氏、当協会事務局長 宮

崎友之氏の3氏を新理事とする人事案が承認された。

■ 5 月 度

5月22日(月)16時30分から、理事12名中10名、監事4名中3名が出席して、5月度理事会を富山国際会議場2階会議室で開催した。

①役員人事(案)、②幹事選任(案)について審議し、全員異議なく満場一致で承認された。

人事・労務政策委員会

■ 幹事会

4月24日(月)、笠井委員長はじめ幹事8名が出席し、富山経協・研修室Aで開催した。

笠井委員長の挨拶後、事務局より①賃金改定速報、②2017年4月新卒等採用状況調査結果、③講座・セミナーの開催結果、開催予定について報告した。また、中村副委員長が退任し、後任の副委員長人事については委員長・副委員長を中心に5月定例委員会までに相談

を進めることとなった。

次に、今後の事業予定について、定例委員会は、5月定例委員会を5月30日(火)15:30～17:30に行い、議題は、①「人事労務管理の効率化に向けたシステム活用」(講師：(株)インテック)、②「県によるインターンシップ等就職支援活動」(講師：富山県商工労働部労働雇用課)、③今年度の採用活動状況について情報交換、とする。8月定例委員会は8月25日(金)15:30～



17:30に行い、議題は、①日本経団連との情報交換「働き方改革推進」の動向、②県との働き方改革推進事業の進め方(予定)とすることを審議のうえ決定した。

■ 定例委員会

5月30日(火)、笠井委員長、高田副委員長、委員21名が出席して、富山経協・研修室Aで開催した。

笠井委員長の挨拶後、中村副委員長が退任し、副委員長を新たにYKK(株)片野氏に委嘱することが紹介された。

次に県商工労働部労働雇用課の村中主幹が「平成29年度雇用対策について」と題して講演し、①富山県の雇用対策における課題としてUターン就職率などの諸数値を解説し、県の将来人口は超長期的に見ると減少が著しいと予測され

ること、②人口減少等を背景に人手不足感が継続している中で、雇用対策としてUIJターン・インターンシップ推進、県内定着の促進、多様性の確保(新分野チャレンジ・高齢者・女性等)の3つの切り口を中心に各施策の概要を説明し、積極的な活用を依頼した。

続いて、(株)インテックの林専務執行役員人事部長が、「人事労務におけるIT活用について」と題して講演した。長時間労働のリスクと、余暇が生産性に与える影響について指摘し、インテック社内では勤怠管理をシステム化し勤



務表の日次管理を徹底していることを紹介した。また、働き方の多様化の実現についてはテレワークや社内コミュニケーションツールの変化、人材情報データの蓄積などの取り組みが紹介された。

講演後、今年度の採用活動状況に関する情報交換を行った。

教育委員会

■ 教育制度見学会・定例委員会

6月9日(金)、教育制度見学会を松原委員長はじめ36名が参加して(株)インテック本社で開催した。

松原委員長の挨拶後、佐藤本部長より会社概要や事業内容の説明を頂き、本社前ビルおよびキッズビルを見学した。その後、同社の教育の取り組みとして、インテックカレッジと資格体系・目標管理制度について説明を頂き、質疑応

答及び意見交換を活発に行った。

続いて、定例委員会を松原委員長はじめ委員23名が参加して(株)インテック本社会議室で開催した。

松原委員長挨拶の後、人事異動に伴う交代委員の紹介を行った。その後、2017年度委員会活動について、次回の定例委員会は8月29日(火)に「サービス産業の業務仕組み化セミナー」と合わせて開催することを確認し、また、10月の



教育制度見学会は(株)スギノマシンで開催を企画していることを報告した。

品質管理委員会

■ 幹事会

4月11日(火)、谷川委員長はじめ幹事12名が出席して富山経協・研修室Aにおいて開催した。

人事異動に伴う退任幹事の挨拶の後、委員会規則に基づき、谷川委員長より新たに幹事の選任を行った。

次に2017年度の具体的な事業活動の協議を行い、今後の定例委員会の進行については7月と2月を

見学会形式に、9月と12月をグループディスカッション形式にすることとし、①企業見学会の候補先、②グループディスカッションのテーマを審議した。さらに、県外企業見学研修会については長野方面を中心に委員長と調整の上で決定することとした。また、講座・セミナーの担当委員については、希望調査の結果を確認し、了承された。



次回委員会は7月4日(火)に(株)能で見学会と合わせて開催する。

環境委員会

■ 定例委員会

5月10日(水)、定例委員会に合わせ講演・情報交換会を開催した。

第I部の講演・情報交換会は矢野委員長はじめ27人が出席し、富山商工会議所ビル99号室で開催した。富山県生活環境文化部から環境政策課廃棄物対策主査 八田哲典氏、環境保全課主任 塚本賢氏の2名を招き、それぞれ「環境行

政施策の動向について」、「とやま水環境について」と題し講演を頂き、情報交換を行った。(講演要旨は15頁掲載)

第II部の定例委員会は矢野委員長はじめ23人が出席し、富山経協・研修室Aで開催した。委員長挨拶の後、2017年度事業計画の説明と今年度の企業見学と環境保全活動の予定についての審議を行った。



■ 県外企業見学研修会

6月8～9日(木～金)、石川県の羽咋郡と七尾市に赴き、11名が参加して県外企業見学研修会を開催した。

初日は参天製薬(株)能登工場を訪問し、点眼剤の調剤・充填・包装ラインおよび自動倉庫と製造工程の一連の流れと、排水と産業廃棄物の処理を見学した。

2日目は、まず北陸電力(株)志賀原子力発電所を訪問し、地内の破碎帯(S-1断層)の活動性調査状況や福島原子力発電所の事故を教訓とした地震、津波対策について

の概要や、非常用電源車の配備、原子炉への注水を行うための消防車の配備、緊急時対策棟の設置、緊急時に備えた訓練等、想定されるあらゆるリスクへの対策を進め、安全強化に努めている様子を見ることができた。

続いて(株)スギヨ北陸工場を訪れ、ちくわ、加賀揚などの製造・包装工程および検査工程を上部から見学し、国際的に認められた衛生管理手法HACCP(ハサップ)の認証工場における食の安全・安心への意識の高さと排水処理の取り組みを見学した。



日頃から環境経営に携わっている参加者にとって、環境先端企業の取り組みを直接視察することができ、非常に有意義な2日間となった。

環境行政施策の動向について

富山県 生活環境文化部
環境政策課 廃棄物対策班 主査 八田 哲典

昨年5月に開催された「G7富山環境大臣会合」では、国際社会が連携し、資源や廃棄物の有効利用を進める「富山物質循環フレームワーク」が採択されました。このフレームワークでは、取組みの具体例として食品ロス・食品廃棄物対策が盛り込まれたことから、本県では開催県としても、食品ロス等の削減に取り組んでいます。

具体的には、昨年度、家庭ごみの内訳を調べる組成調査と家庭・外食時における排出状況に関するアンケート調査を行っています。これまで3回行った組成調査(速報)では、可燃ごみに占める「手付かず食品・食べ残し」の割合は6.7%(全国:10.4%)で、その内訳は「手付かず食品」が77%(全国:51%)、「食べ残し」が23%(全国:49%)との結果で、

全国より手付かず食品の廃棄率が多いことが分かりました。また、アンケート調査では、88.0%の家庭で「賞味・消費期限切れ等の手付かず食品」を廃棄しており、その理由として「購入したことを忘れてしまい、期限切れになる」が61.5%となっており、消費行動の見直しが必要であることが分かりました。

また、今年5月には学識者や関係団体から成る「食品ロス・食品廃棄物削減対策推進県民会議」を設置しており、事業者・消費者・行政がそれぞれの立場で食べ残しや手付かず食品などの削減を進めるとともに、相互に情報共有・連携し合うことで食品ロス等の削減に県民一丸となって取り組むこととしております。

PCB廃棄物については、法改正により処分期間が1年前倒しになっ

ています。変圧器(トランス)及びコンデンサーは平成34年3月末、安定器及びその他汚染物は平成35年3月末までに計画的かつ適切な処分を行ってください。また、事業所で使用又は保管している蛍光灯安定器等にPCBが含まれていないか確認いただき、PCBを含む場合は、保管状況等届出を提出するとともに処分期間内に使用停止・機器更新・処分を行ってください。

県では、G7富山環境大臣会合を契機に、県民総参加の環境保全活動をさらに推進し、県民、事業者、民間団体等と連携を図りながら、環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」に向けて取り組むこととしておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

とやま水環境について

富山県生活 環境文化部
環境保全課 主任

塚本 賢

富山県は、「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟や全国最多の8件が「名水百選」に選定されるなど豊かで清らかな水環境に恵まれており、河川や湖沼、海域(富山湾)の水質は近年良好な環境を維持しています。

一方、毎年40～60件の水質汚濁事故が発生し、その大部分が油流出事故であります。特に、油流出事故は冬季に多く発生しています。

こうした水質汚濁事故の防止や富山湾等の水質維持に向けた汚濁原因物質の排出抑制、水環境保全活動の促進などの課題に対応するため、平成27年3月にクリーンウォーター計画を改定し、「守る(基本的な水環境保全対策の実施)」、「育てる(水環境のさらなる向上を目指す取組みの推進)」、「活かす(魅力があり、くつろげる水辺の環境の活用)」、「伝える

(県民共有の財産として将来に引き継ぐ)」を施策の基本的方向といたしました。

「守る」では、水質汚濁事故対策の強化として、油流出防止装置等の導入を呼びかけるリーフレットの作成・配付などを行っています。

また、「育てる」では、企業の皆様が富山湾の水質汚濁の原因となる窒素やリンの排出抑制といった取組みに加え、水源地域等での森づくり活動や水辺や事業場周辺の清掃活動などを「プラスワンアクション」と位置づけ、のぼり旗の提供やホームページで紹介する等の活動に対する支援を行っています。

「活かす」、「伝える」では、「とやまの名水」等のうまい水のある水辺の保全活動を支援するとともに、とやま環境フェア等の環境イベントな

どで富山湾やその他の水環境の魅力をPRしています。

さらに、28年度については、「とやまうまい水のある水辺めぐりツアー」を県内4コースで開催し、県内の名水をめぐり、河川では「川のすこやかさ調査」を実施したほか、水環境保全団体の交流会を開催するなど、とやまの水環境の魅力を「活かす」、「伝える」事業を行いました。

29年度は「川のすこやかさ調査」を県内全域で行うキャンペーンを実施することとしており、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

県では、とやまの水環境保全のため、さまざまな取組みを進めております。会員の皆様には、本県の取組みに、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

階層別研修

■管理職マネジメント研修

昨年9月12日(月)に富山県農業総合研修所において開講した第9期「管理職マネジメント研修」は、5月20日(土)に3回の合宿を含む12日間の日程を終えて閉講した。参加者は会員企業の幹部候補者26名で、全員が研修を修了した。

最終回では、2月から4か月間にわたり行ってきたグループ研究の成果を発表し、本研修の講師である羽田野正博氏より講評を頂いた。また、北電産業(株)代表取締役

社長 堀田正之氏から経営者講話をいただき、管理職に求められる役割について学んだ。

講義では、管理職として抱えている問題・課題について「部下育成」「モチベーション」「コミュニケーション・チームワーク」「タイムマネジメント」「管理者の自己啓発」の5テーマでワークショップを実施して、問題意識と解決の方向性を共有し、羽田野講師よりフィードバックが行われた。

最後に修了証と記念品の授与を



行った。

今後は同期会を開催して、引き続き交流を深める。第10期については9月11日(月)～2018年5月12日(土)の全12日間の日程で開催する。



参加者NOTES

「2016年度 管理職マネジメント研修」
を受講して

北星ゴム工業株式会社
製造2課 課長

能 登 元



昨年の9月より全9回延べ12日間のカリキュラムは、私にとって初めての経験でした。

当初は異業種の方々とのコミュニケーションが取れるか不安もありましたが、研修の度に打ち解け、最後は戦友としてチームになれたと実感しております。同じ悩みや困り事をもつ戦友たちとの対話は聞くだけでも知識が高まり、視点の変化に繋がりました。

また、講師の羽田野先生は聞く立場の講話で非常に解りやすく、モチベーション向上に繋がる内容

で、最初から最後まで盛り上がった研修会になりました。講義内容は、管理職としての知識や能力(経営観・コミュニケーション・タイムマネジメント・管理レベル等々)、色々な角度から管理者としてどう歩むべきかを習得できるものでした。「時代の変化に対応した行動力が必要」とお言葉を頂いた時、心の底から実感しました。今後の自らの成長に役に立つお言葉でした。

グループディスカッションでも各グループが色々な角度から討議

し発表しました。なるほど!と感心したこともあり、勉強になりました。

また、経営者講話として、(株)ピア 松原隆光様、富山エフエム放送(株) 小山孝義様、北電産業(株) 堀田正之様から、経営に関する内容の濃いお話と、懇親会での気さくなお話ができた事は、非常に良い経験であり、今後の管理職としてどうあるべきか参考になりました。

今回、このような素晴らしい研修に参加させて頂いたことに対し、同じ志を持った同志に出会い、羽田野先生を始めとして経営者協会の皆様、農業研修所の皆様、弊社社長に感謝しております。今後のマイキャリアデザインを創り邁進したいと考えています。

労務管理

■人事・労務管理セミナー(第1回)

4月19日(水)、「女性活躍のための管理職セミナー」と題して、18名が参加し富山経協・研修室Aで開催した。

講師のブラマンテ(株)代表取締役の田島弓子氏は、女性の活躍に向けた管理職の3ステップとして、①管理職自身の意識改革、②女性のキャリア観を踏まえた平等育成

とキャリアサポート、③信頼関係を生み出すコミュニケーション強化を紹介した。特に意識改革においては、男性と女性に能力差はないが違いはあると指摘し、考え方

の違いを知らないことによる無意識の対応の偏りに注意が必要であるとした。コミュニケーション方法などの具体例を交えた講義に加え、受講者はグループワークを通じてお互いに意見を交換し多様性の時代の管理職のあり方について

考えを深めた。受講後には今回の気づきを社内に持ち帰って実践し広めていきたいという前向きな声が聞かれた。



営 業

■営業力基礎セミナー

4月25日(火)・26日(水)、39名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

近年、顧客ニーズが高度化する中で、ビジネスを成功に繋げるためには、表面だけではなく潜在している顧客の考えや気持ちを正しく理解し実現・解決する「提案力」がますます重要になっていることから、今年度講座内容を一新して開催した。

(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント 小林定夫氏から、提案型営業の活動内容とその目的を明確にすることで顧客思考の考えを身につけるよう、①「営業パーソンの使命と役割」、②「顧客の購買行動と営業プロセスの関係」について講義で学び、③「自社と顧客をつなぐ日々の営業活動」では、初回訪問・継続訪問、商談段階の営業プロセスについてケーススタディを用いた異業種の参加者との



グループ討議と、ロールプレイングによる実践的な演習を通じて、さまざまな視点・考え方を学んだ。



参加者NOTES

「営業力基礎セミナー」を受講して

富山エフエム放送株式会社
営業部

木村 州平



2日間に渡って開催された営業力基礎セミナーは、この4月よりUターンで県内企業に就職した私にとって大きな刺激になった。

私は新卒からの数年間を東京都内の専門商社で営業職として勤務し、当時数多くのセミナーに参加したが、今回の営業力基礎セミナーはそのどれよりも営業職の実務に即し、具体的であった。精神論や、表面だけの理屈のやりとりは内容から一切排斥され、実際営業マンが現場で対峙するであろう課題や壁との向き合い方が目に見える形で提示されていた。

例えば、商談を想定してのロールプレイングでは、営業経験者は全員レジスターメーカーの営業職に扮して、初回訪問を行った。ロールプレイング自体は他のセミナーでも頻繁に行われると思うが、まずレジスターを取り巻く市場の状況設定が、驚くほど詳細でリアルであり、且つロールプレイング一回毎に、競合の商談進捗や見積もり提示額が変化する、というものであった。初回訪問においてどの段階まで話を進めるかもその営業の判断に任すというリアルさで、これにより参加者が普段どのよう

な姿勢で商談に臨んでいるか、克明に他の参加者が見て取れる状況だった。講義を踏まえてから他者のリアルな商談を拝見できるという機会は、言葉では簡単だが実際の同行営業でもそうそう無く、血が滾るような臨場感を覚えた。

講師の小林氏の言葉で特に印象的だったのは、「売れる営業と売れない営業の違いはたった一文で表せる。それは商談で自分が何を話したか、他者にも簡潔に説明できるかどうかである」というもので、これはある程度経験を積んだ営業マンにとっても盲点となりうる金言であると感じた。ぜひ実務で自身に反芻していきたい。

最後に今回の営業力基礎セミナーが、同じ県内で同じ職種に携わる同志一同の、心温まる意見交換の場になったことは言うまでもないことを明記しておきたい。

共 通

■好印象を与えるコミュニ

ケーション力向上セミナー

5月16日(火)、31名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

アイル・インターナショナルの福田僚子講師は、「好印象を与えるコミュニケーション力を習得」するため、ホスピタリティの知識に加え、コミュニケーションの重

要性として第一印象の大切さを解説した。演習ではロールプレイングを取り入れ、バーバル、ノンバーバルなどのコミュニケーションスキルについて実習を行った。受講者は心理学的アプローチを交えた講義とグループワークを中心としたプログラムを通じて、職場での良好な人間関係や信頼関係を構築



するためのコミュニケーションの理論とスキルを学んだ。

参加者NOTES

「好印象を与えるコミュニケーション力向上セミナー」を受講して

北陸コンピュータグラフィックス株式会社
システム開発グループ 田村 祥啓



この度、「好印象を与えるコミュニケーション力向上セミナー」を受講しました。日頃の業務で必要とされるコミュニケーションや普段意識するポイントについて学べ非常に有意義な時間となりました。

ビジネスシーンでは、人との関わりにおいて第一印象がとても重要だということです。第一印象は約2秒で決まり、その後の印象の上書きや変更は困難です。この印象は言葉以外での姿勢や表情など外見を通じて与える「ノンバーバル・コミュニケーション」で決まってしまうそうです。普段あまり意識していない部分のため、相手に

自分の良い印象を受け入れてもらうためには日頃の立ち居振る舞いから意識する必要があると感じました。

また目的や場所、相手によってコミュニケーションのとり方を使い分ける必要があります。ビジネスシーンでは論理的に話し簡潔に用件を伝えることが求められるため、「5W1Hを使って話す」、相手が安心して話を聞けるように「結論から話す」、「自身の意見と事実を分けて伝える」、この3点を意識して話す必要があります。

中でも私は意見と事実を分けて相手に伝えることが意識できていなかったため、今後はこの点を意

識して業務上のコミュニケーションや連絡を行っていきたいと思います。

そしてコミュニケーションをとる際は「傾聴力」、「説明力」、「質問力」が重要であり、特に「傾聴力」を身に着ける事の重要性を感じました。この「傾聴力」を養うために、「相手が安心して話せる空間を作る」、「相手に興味・関心を持つ」、「相手の気持ちに寄り添う」を普段から意識することが大切です。私は相手の話を主観的に聴くことが多かったため、これからは相手に「共感」ということを心がけていきたいです。

今回の講座を通じて、コミュニケーションに関して今まで気づかなかったことや意識していなかったことを学ぶことができました。これらを知識にとどまらず、毎日の業務の中で実践していきたいです。

■事務・間接(スタッフ)部門の効果的な業務改善の進め方セミナー

5月24日(水)、30名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

講師の渡辺季幸(一社)中部産業連盟 委嘱コンサルタントは、事務・間接(スタッフ)部門の業務改善を進めるためには製造現場との違いを知り、仕事の量とスピード

をコントロールすることがポイントであるとした上で、ものづくりの改善手法を応用することで事務・間接業務の効率化・仕事の質の向上を図れるとし、業務プロセス改善の着眼点や適用しやすい改善手法について具体的な事例を交えて解説した。さらに、グループ演習で改善の効果的な進め方を検



討し、参加者間の活発な意見交換を通して理解を深めた。

品質管理

■品質管理入門講座<基礎編>

4月20日(木)から5月18日(木)まで全4日間の日程で、52名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

講師にはM&P研究所とやま所長 竹村 稔氏を迎え、初めて品質管理を学ぶ人を対象に、より効果的に改善を進めるために不可欠である「品質管理」の考え方と、問

題の発見・解決に役立つQC7つ道具の使い方について、講義と演習を通じて学んだ。

最終日には「紙飛行機を遠くに飛ばそう!」をテーマに班別で紙飛行機を作成し、どうしたら遠くに飛ばすことが出来るかという総合実習を通じて、QCストーリーに沿った小集団活動を学んだ。最後に認定試験を行い、受講者全員



が「品質管理初級」の認定書を手にした。



参加者NOTES

品質管理入門講座「基礎編」

を受講して

株式会社 トヨックス
品質保証部

坂井 清紀



この度、品質管理入門講座「基礎編」講義を受けて、実のある良い講座を聴けたことに感謝いたします。初心者の中でも、品質管理の歴史や基本的な考え方とQC7つ道具について講義と演習を通して理解し身につけることができました。先生のわかりやすい講義と豊富な実演演習から短期間でも品質管理のQC手法に沿った基礎を1から学べて理解しやすいと思います。

実際に、現品を使いQCストーリーを使いながら、ガントチャート・グラフ・管理図・ヒストグラム・特性要因図などを作成したことで、良い実経験と理解度が深まり、学んだことを会社で使えることは、自分のスキルアップと知識にもつながり、職場の改善活動を通して、仕事の「質」と「生産性」、「共有」を高めるため、職場での問題解決のために、PDCAを使い有効活用の実施ができると感じて

います。

講座に集まる企業の方々も、QC活動から何らかの悩みを持ちながら異業種交流で会話することで、グループディスカッションがお互いに共感しあえる参加体験型であることが良かったと思います。

学んだことをこれから上手に活用し、会社内で勉強会やサークル会等でも「共有」と「共育」しあい、会社に貢献出来るように努めたいと思いました。

品質管理講座を受講することは、今からでも遅くはないと思います。ぜひ、参加してみる価値は、多いにあると思いました。環境面でも支えて頂いたスタッフも親切・丁寧で笑顔が良かったです。

■実践しながら学ぶ

統計的手法活用講座

5月25日(木)から11月30日(木)までの14日間の日程で、富山経協・研修室Aを会場に28名が参加して開講中である。

本講座は、企業の体質改善を進めるために必要な役割を担うスタッフ・技術者を対象に、問題解決に必要な統計的品質管理(SQC)の手法を学ぶとともに、職場

での問題解決を図るべく、上司とキャッチボールの上、職場の問題をテーマに選定し、講師のカウンセリングを受けながら実践的な品質管理手法を駆使して問題解決に取り組み、その内容を研究論文にまとめることにより、自己完結能力を高めることをねらいとしている。

受講者は、他企業の受講生と仕事の内容、進め方などを意見交換



し、相互交流を図りながら真剣に受講している。

新会員の紹介

(50音順)

■ 株式会社エムエスシー

所在地 富山市新庄本町2丁目1-96
代表者 代表取締役 宮崎 邦治
設立 2000年(平成12年)8月
資本金 1,000万円
従業員 21名
事業内容 情報サービス業 (トータルソリューション、システムの設計・開発他)



■ 株式会社 盛システム開発

所在地 富山市黒瀬北町2丁目13-1
代表者 代表取締役社長 盛 利章
設立 2000年(平成12年)7月
資本金 2,000万円
従業員 37名
事業内容 情報サービス業 (ソフトウェアサービス)



■ 株式会社高志インテック

所在地 富山市奥田町9-32
スカイインテックビル
代表者 代表取締役社長 根岸 幸博
設立 2005年(平成17年)7月
資本金 9,000万円
従業員 450名
事業内容 情報サービス業 (システムソリューション事業、リース事業、人材派遣事業他)



■ 株式会社リンケージ

所在地 富山市二口町4丁目7-15
代表者 代表取締役社長 片岸 善雄
設立 1989年(平成1年)5月
資本金 1,500万円
従業員 16名
事業内容 情報サービス業 (ソフトウェア開発)



■ 株式会社ソフト

所在地 富山市桜橋通り2番25号
代表者 代表取締役社長 中村 全
設立 1983年(昭和58年)6月
資本金 4,000万円
従業員 63名
事業内容 情報サービス業 (コンピューターシステムの設計およびソフトウェア開発他)



会員の動き

(50音順)(敬称略)

■ 代表者の変更

株式会社カターレ富山

代表取締役社長 森野 弘樹 (前: 酒井英治)

戸田建設株式会社 富山営業所

所長 北村 正敏 (前: 松村 明)

富山県職業能力開発協会

会長 金岡 克己 (前: 稲垣晴彦)

学校法人 富山国際学園

理事長 金岡 克己 (前: 金岡祐一)

富山中央青果株式会社

代表取締役社長 安井 豊 (前: 青木博二)

伏木海陸運送株式会社

代表取締役社長 川西 邦夫 (前: 針山健二)

株式会社 不二越

代表取締役社長 薄田 賢二 (前: 本間博夫)

■ 所在地変更

株式会社福井銀行 富山支店

富山市今泉西部町6番地の4 (前: 富山市上本町3番16号)



貸し切り

富山市内をレトロ電車で
樽生ビールと美味しいオードブルで懇親パーティー！

ピア電 ピアパーティー

～素敵な出会いを見つけませんか？～

7月28日(金)

18:15 富山駅 市電乗車場 集合・受付
18:30 ~ ピア電に乗って市内を周遊
20:00 頃 富山駅 市電乗車場 解散予定

募 集

独身男女 各12名

*先着順で定員に達し次第締め切ります。
※以降はキャンセル待ちの受付となります。

応募条件

富山県経営者協会の会員企業の従業員

参加費

男性 4,000円(税込)

女性 3,000円(税込)

*飲み放題とブランジェリー・バクハウスの特製オードブル付

主 催 一般社団法人 富山県経営者協会
(総務・交流委員会)

お問い合わせ FMとやま ホームページ <http://www.fmtoyama.co.jp/> で申込み受付中！



表紙の花
ニッコウキスゲの花

(富山県中央植物園 中田政司)

標準名はゼンテイカ

栃木県日光の戦場ヶ原や霧降高原に多いことからニッコウキスゲと名付けられましたが、正式な日本名はゼンテイカ（禅庭花）といいます。あまり聞き慣れないこの名前の由来は不明で、一説にはニッコウキスゲが群生する戦場ヶ原を中禅寺の庭に見立てて名付けられたといわれ、また一説では、古来より立山・白山などの霊山に登って修行することを禅定（ぜんじょう）といい、その山道（禅定道）に咲くので「禅定花」、それが転じてゼンテイカになったともいわれます。

ニッコウキスゲは本州中部から北海道に分布し、本州中部では高原や湿原の代表種で、尾瀬ヶ原や霧ヶ峰などの大群落は天然記念物にも指定されています。一方、北海道や東北では海岸近くにも生えており、山形県飛鳥（とびしま）や佐渡では大型化したものが、また関東地方では低地型のもの

があって、それぞれトビシマカンゾウ、ムサシノキスゲという名前がついています。富山県では旧八尾町白木峰のニッコウキスゲが有名で、毎年7月上旬には多くの登山者が訪れます。

花は食用

ニッコウキスゲの花は食用になりますが、花は1日花で、朝開いて夕方には閉じてしまいます。そのため、食材としては蕾がもっぱら利用されます。近縁な中国産のホンカンゾウの若い蕾は金針菜（きんしんさい）と呼ばれる生薬で、中華食材としてスープや炒め物にもよく利用されます。鉄分を豊富に含むことから貧血の予防になるということで、日本ではヤブカンゾウやノカンゾウの蕾が薬膳料理の食材として使用されているようです。

ヤブカンゾウ ▶



西部地区会員懇談会

7月7日(金) 16時30分～19時40分

場 所： ホテルニューオータニ高岡 4階 鳳凰
(高岡市新横町1番地 電話(0766)26-1111)

16:30～18:10 講演会

テーマ：(仮)「輝く職場のつくり方-新幹線清掃会社は
こうして最強のチームに変わった」
～どんな会社にでもできる“奇跡の職場”のつくり方～

講 師： 合同会社 おもてなし創造カンパニー

代表 矢部 輝夫 氏

(元：(株)JR東日本テクノハートTESSEI 専務取締役)

18:20～19:40 懇親会

事業予定

2017年 6月16日～8月15日

詳しくはホームページ(<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場 所	備考
会 議	7月4日(火)	14:30～16:20	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	(株)能作	
	7月7日(金)	16:30～19:40	西部地区会員懇談会		ホテルニューオータニ高岡	上記「おしらせ」参照
	7月14～15日(金～土)		北陸三県・長野県経営者協会役員協議会		長野県	
	8月3日(木)	16:30～17:30	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営・IT	富山経協・研修室B	
会 員 交 流	7月28日(金)	18:30～20:00	婚活支援イベント	総務交流	富山地鉄・市内電車	21頁「おしらせ」参照
講 座 ・ セ ミ ナ ー	6月16日(金)	13:30～16:00	労働法実務講座(第1回)	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	6月20日(火)・21日(水)	9:30～16:30	中堅社員活性化コース	教 育	インテック大山研修センター	
	6月22日(木) 7月6日(木)・25日(火) 8月3日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計の手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室A	
	7月11日(火)・12日(水)	9:30～16:30	監督者基礎コース(A日程)	教 育	富山商工会議所ビル	
	7月13日(木)・14日(金)	9:30～16:30	監督者基礎コース(B日程)	教 育	富山商工会議所ビル	
	7月19日(水)	9:30～16:30	人事・労務管理セミナー(第2回)	人事・労務政策	富山経協・研修室A	
	7月20～22日(木～土)	9:00～15:00	部長実践講座	品質管理	インテック大山研修センター	
	8月2日(水)	9:00～17:00	なぜなぜ分析活用セミナー	品質管理	富山商工会議所ビル	

「富山経協」vol.833

2017年(平成29年)6月号
2017年6月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)
TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>

Eメール info@toyama-keikyo.jp